

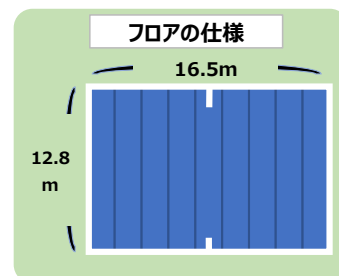
## 競技規定

### 1. 演技内容

- 1) 演技内容は大会参加指針に沿って、適切であるかを見極めること
- 2) 振付・演出・使用楽曲は、スポーツシーンに合った内容で行われ、演技はすべての観客のために適切かつエンターテイン性に富んでなければならない  
下記の内容に該当する、構成や振付は禁止とする
  - ① 振り付けにおいて紛争や抗争をイメージさせる内容
  - ② 人を威嚇するジェスチャー
  - ③ 不快感を与える演出やメイクアップ
  - ④ 不適切な歌詞やスラングの入った楽曲
  - ⑤ 違法ダウンロードによる楽曲(音楽プロバイダーのサンプル楽曲含む)
- 3) 使用楽曲は事前に歌詞内容・訳詞内容が適切であるか確認をすること  
大会当日に大会運営側から使用楽曲の歌詞内容について確認要請があった場合には、その場で歌詞内容を確認できる資料(外国語の場合は、訳詞・原文の両方)を提出する必要がある
- 4) 『セーフティールール』の内容を順守すること
- 5) 演技中は最初から最後まで音楽を使用すること
- 6) 選手の安全確保の観点から、大会運営側で競技スポッターを配置する  
ただし競技スポッターはセーフティールール上必須のスポッターとはみなされない

### 2. 演技フロア

- 1) 奥行12.8m(42フィート)×幅16.5m(54フィート)のチアマット上となる(フロア内の前後にセンターの印あり)  
※ラインオーバーについては『VARSITY ALL STAR スコアリングシステム 減点システム』参照
- 2) 演技に無関係なアイテムの演技フロアへの持ち込みは禁止  
【例】チームのぬいぐるみ、手具として使用しない小道具など
- 3) メンバー全員で演技フロアに入場し、演技中の出入りは禁止
- 4) 演技者以外のフロアへの立ち入り及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止  
【例】演技者以外の手具・大道具の設置補助や選手への指示出しなど



### 3. 演技時間・計測方法・入退場

- 1) 演技時間は、『セーフティールール 一般安全規則』参照
- 2) 計測方法は、音楽または動作の開始をもって開始し、音楽・動作の両方の完了をもって終了とする  
※タイムオーバーについては『VARSITY ALL STAR スコアリングシステム 減点システム』参照
- 3) チーム名が読み上げられたら、すぐにメンバー全員でフロアに入場し、退場も速やかに行うこと

### 4. 衣装・身だしなみ

- 1) 衣装・身だしなみについては『セーフティールール 一般安全規則・IMAGE POLICY』を参照

## 5. 演技順の変更・演技の中断

※演技順の変更…大会当日、演技開始前に演技順を変更すること

※演技の中断 …「演技の開始」(音楽、または動作の開始)後に演技が止まること

1) 主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した場合、演技順の変更および演技を中断する権利を持っている

2) 演技順の変更・演技の中断は原因によりそれぞれ下記の扱いとする。**すべての判断は主催者が行う**

### ①不測の事態及び傷病によるトラブル

音響機材や施設の不備等、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブル

a. 予定時間に演技が開始できなかった場合…チームは演技順の変更の申請が可能

b. 演技が中断した、または妨げられた場合…チームは再演技の申請が可能

再演技は予定の内容を1曲通して行うこと。ただし審査は主催者によって決定された演技中断以降の部分のみが対象となる。演技中断前の審査内容はすべて反映される

原則、演技は開始からすべてのスキルを実施しなくてはならないが、すべてのスキルが行えなかった場合、そのチームの得点をどのように取り扱うかについては主催者によって決定される

### ②チームの責任によるトラブル

道具・衣装・音源の不備やチームの責任によるトラブル

a. 予定時間に演技が開始できなかった場合…棄権、もしくは**減点が課せられた上で**チームは演技順の変更の申請が可能

b. 演技が中断した、または妨げられた場合…棄権、もしくは**減点が課せられた上で**チームは再演技の申請が可能  
再演技の審査は1度審査した内容は破棄され、改めて1曲通しての審査となる

3) チーム代表者(音響担当者)は演技中に続行が不可能と判断した場合、音響席にある旗を揚げることで演技を中断する事ができるが、この場合は棄権とみなす。(ただし主催者の判断によりこの限りではない)

4) 全ての審査が完了しない場合(得点算出不可)は審査対象外となる